

令和7年4月14日

国土交通大臣 中野 洋昌 様

埼玉県知事 大野 元裕

さいたま市長 清水 勇人

埼玉高速鉄道線（地下鉄7号線）延伸の早期実現に向けた支援に係る要望

埼玉県政及びさいたま市政の推進につきましては、日頃から格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

埼玉高速鉄道線（地下鉄7号線）の延伸については、平成28年4月の交通政策審議会第198号答申において、浦和美園から蓮田までの区間について、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに位置付けられ、「埼玉県東部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待」とする意義が示されております。

埼玉県及びさいたま市では、浦和美園から岩槻までを先行整備区間と位置付け、延伸の早期実現に向けて、現在、令和7年度中の鉄道事業者への事業実施要請を目指し、連携して取組を進めております。

浦和美園から岩槻までの延伸については、都心部への速達性・利便性の向上や鉄道空白地域の解消など「東京圏の鉄道ネットワーク強化」や「災害時等の代替路線機能の充実」に大きな効果があり、延伸によって地域の成長と発展が期待されますが、事業の推進にあたっては国の支援が必要不可欠です。

つきましては、下記の要望事項について、特段の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 埼玉高速鉄道線（地下鉄7号線）延伸（浦和美園～岩槻区間）の早期事業化
- 2 事業の進捗に応じた予算の安定的な確保及び事業の実施に向けた現実的な支援

【埼玉高速鉄道線（地下鉄7号線）延伸の効果】

延伸の効果 1

東京圏の鉄道 ネットワーク強化

東武アーバンパークラインへ結節
安定した鉄道輸送サービス提供

- ・ 都心部への到達性の向上
- ・ 乗換減少による利便性の向上
- ・ 鉄道空白（不便）地域の解消
- ・ 既存の鉄道路線の混雑緩和
- ・ 高齢者の移動手段（公共交通）の確保

延伸の効果 2

災害時等の代替路線 機能の充実

多様な代替ルートによる
リスク回避

- ・ 通勤、通学の平行路線遅延時の代替
- ・ 延伸線沿線の埼玉スタジアム、各種公共施設と連携した災害時のリスク対応

